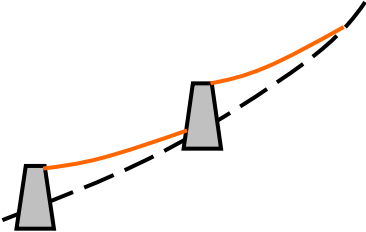







実施箇所	取組状況
<p>①花山湖上流</p>  <p>小川原地区 実施設計調査業務状況</p>  <p>一迫地区 ブルーシート張り</p>  <p>〈土留イメージ図〉</p> <p>※点線は元の斜面 傾斜が緩やかになり、土砂が安定する。</p>	<p>【警戒避難支援対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土石流センサー1基設置 ・7月19日 一迫川地区(切留地区)に簡易伸縮計を2基設置 <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">設置済</p> <p>【応急・復旧対策】</p> <p>(一迫川地区(小川原地区) 崩落土砂流出防止対策(土留工))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月23日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月1日 実施設計調査に着手 <p>(一迫川地区(河原小屋沢) 溪間対策(治山ダム))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月27日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月4日 資材運搬路の実実施設計調査に着手 ・7月18日 資材運搬路の実実施設計調査終了 ・7月25日 資材運搬路の工事着手 <p>(バックホウほか2台、21人、支障木伐倒、資材運搬路作設ほか)</p> <p>(一迫川地区(河原小屋沢) 施設復旧対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月25日 国有林野内直轄治山施設災害復旧事業採択 <p>(一迫川地区(湯ノ倉上流) 溪間対策(治山ダム))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月2日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月11日 実施設計調査に着手 ・7月18日 実施設計調査終了 <p>(一迫川地区(切留地区))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月17日 亀裂に雨水が浸透するのを防止するためのブルーシート張りに着手 ・7月22日 ブルーシート張り完了 <ul style="list-style-type: none"> ・7月25日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 <p>《今後の予定》</p> <p>(一迫川地区(小川原地区))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計後、土留工等に着手予定 ※土留工:崩壊斜面の表土を動かさないようにすることで、崩壊の拡大を防止する工事 <p>(一迫川地区(河原小屋沢))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資材運搬路の作設
<p>②花山湖上流(民有林)</p>  <p>温湯地区被害状況</p>	<p>(温湯地区・浅布地区・本軽井沢地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月4日 民有林直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月17日 実施設計調査に着手 <p>《今後の予定》</p> <p>(温湯地区・浅布地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応急対策として大型土のう工に着手予定

実施箇所	取組状況
<p>③国道398号線へ接続する林道の緊急整備</p> 	<p>・被災した国道398号線の緊急復旧工事のための資材運搬路として、鎌内国有林林道を緊急に整備(6月18日より緊急車両(工事車両)通行中)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">工事完了</div>
<p>④荒砥沢ダム上流</p>  <p>荒砥沢ダム監視カメラ画像(8月4日15:31)</p>  <p>ボーリング調査の様子(7月19日)</p>	<p>【警戒避難支援対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土石流センサー2基・傾斜計1基設置 設置済 ・監視カメラ1機設置 <p>・7月15日 地すべり伸縮計・雨量計による観測を実施</p> <p>【応急・復旧対策】</p> <p>(二迫川地区 地すべり地内の排水工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月23日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月1日 工事現場までの作業道整備開始 ・7月5日 排水工事に着手 <p>(バックホウほか2台、10人、支障木伐倒、作業道作設ほか)</p> <p>(二迫川地区 ダム上流部の地すべり調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月27日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月3日 地すべり調査に着手 <p>(二迫川地区(マダラ沢) 土砂流出抑制対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月25日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 <p>(二迫川地区(小野松沢) 土砂流出抑制対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月25日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択
<p>⑤耕英地区(民有林)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月4日 民有林直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月13日 専門家による現地調査 ・7月17日 実施設計調査に着手 <p>《今後の予定》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資材運搬路工事に着手予定

実施箇所	取組状況
<p>⑥(市道)馬場駒の湯線の整備</p> 	<p>荒砥沢ダム上流部の復旧対策のほか、孤立化した集落(栗原市耕英地区)への通行確保にも資する(市道)馬場駒の湯線の崩土を除去(国有林に接する部分の崩土除去を6月22日完了)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">工事完了</p>
<p>⑦栗駒ダム上流</p>  <p style="text-align: center;">放森地区(7月10日)</p>	<p>【警戒避難支援対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土石流センサー1基設置 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設置済</p> <p>【応急・復旧対策】</p> <p>(放森地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月4日 応急対策として大型土のう積工に着手 ・7月10日 国有林側への据付完了(330個) ・7月15日 県道沿いの据付完了(120個) <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">工事完了</p>
<p>⑧栗駒ダム上流(民有林)</p> 	<p>(日影森地区・洞万地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月4日 民有林直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月17日 実施設計調査に着手 <p>《今後の予定》</p> <p>(洞万地区)</p> <p>応急対策として大型土のう工に着手予定</p>
<p>⑨栗駒ダム下流 洞万地区</p> 	<p>(三迫川地区(栗駒ダム下流) 山地崩壊復旧対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月25日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択

実施箇所	取組状況
<p>⑩ 県道築館栗駒公園線(行者滝周辺)</p> 	<p>【応急・復旧対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流木による二次災害を防ぐため、行者滝周辺の倒木等処理 ・7月15日 落合橋付近の倒木処理を実施 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">工事完了</div>
<p>⑪ 林道の復旧事業</p>  <p>被災した林道の現況(マダラ沢林道)</p>	<p>【応急・復旧対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月8日 国有林林道3路線の林道施設災害復旧事業採択(揚石林道、マダラ沢林道、山王林道) ・7月29日 国有林林道4路線の林道施設災害復旧事業採択(揚石林道、マダラ沢林道、岩ノ目林道、伊豆根林道) ・7月31日 国有林林道2路線の林道施設災害復旧事業採択(金山林道、大荒沢林道)
<p>国有林における裏山対策</p> 	<p>・国有林の裏山対策(人家等近くの国有林の被災地の応急対策)のための調査を16日までに、花山地区・栗駒地区の6箇所を実施し、崩落やクラック等の被害状況を把握しました。その結果、放森地区において県道への土砂の流入を防ぐため大型土のう積工を実施した他、切留地区において亀裂に雨水が浸透するのを防止するためブルーシート張り等を実施しました。(詳細は①花山湖上流、⑦栗駒ダム上流の項目をご覧ください) 今後は必要に応じて応急対策を行う予定です。</p>
<p>現地調査等の結果</p>  <p>腰拔沢と大地沢の合流点付近の様子(水は流れている模様)</p>  <p>専門家による現地調査の様子(7月19日)</p>	<p>・栗駒ダム上流・荒砥沢ダム上流・花山湖上流に設置した土石流センサー、監視カメラからの情報では、現地の異常は確認されていません。(8月4日13:00現在)</p> <p>・花山湖上流・荒砥沢ダム上流の現地調査(8月2日)を実施しましたが、前回に比べ、新たな山腹崩壊の発生はみられませんでした。</p> <p>・7月30日 第3回山地災害検討会を開催し、治山計画策定に向けた検討を行いました。(概要については、別途お知らせします。)</p> <p>・7月25日 岩手県沿岸北部地震の影響についてヘリコプターによる調査を行いました。岩手・宮城内陸</p> <p>・7月19日 専門家により荒砥沢ダム上流地すべり地内にて現地調査を行いました。</p>